

第30回全国スポーツ祭典卓球大会

大会ニュース

2015年
1月25日

新日本スポーツ連盟全国卓球協議会・愛知卓球協会

今大会には、27都道府県から353チーム（団体戦）、926人（個人戦）が参加。各年代ともに白熱した試合が展開されました。

↓ 逗子クラブ(神奈川)

70才以上 優勝

男子 逗子クラブ(神奈川)

『優勝するぞ!』という意気込みで、初めて参加。みんなの力を合わせて頑張りました。



女子 紅クラブ(東京)↑

60から70代にクラスが上がって優勝。前々から知っている選手も多く、やりづらさもありましたが、メンバーの力で勝てて良かったです。



↑ ポピンズ(神奈川)

大正卓球同好会(神奈川)→

60才以上 優勝

男子 大正卓球同好会(神奈川)

2年ぶりの優勝で、うれしい。午前中は緊張していましたが、だんだんみんな調子が上がってきました。

女子 夢卓球倶楽部(愛知)

楽しかったです。試合進行が遅く、空いている台を効率的に使ったほうがよいと感じました。休憩室でお茶がコーヒーが飲めて、体をあたたかくして試合に臨めたのは良かったです。



↓ 夢卓球倶楽部(愛知)

※大会記録はホームページに掲載します

スポーツ連盟 卓球 検索



↑ 板宿TTC(兵庫)

50才以上 優勝

男子 板宿TTC(兵庫)

女子 ポピンズ(神奈川)

このメンバーで初めて参加しました。全部の力を出し切って最後は神様の力(運)もあって勝つことができました。応援してくれた皆さんに感謝したいと思います。



↓ カプリス(東京)



↓ SAKURA(A)(大阪)



↑ TRF(千葉)



↑ 瑞穂クラブ(茨城)

40才以上 優勝

男子 カプリス(東京)

今回、予選を抜けることを目標に参加しました(初出場)。予選では1敗しながらもギリギリで突破。そこからは調子が上がってきて、優勝することができてビックリです。

女子 SAKURA(A)(大阪)

2連覇できました。SAKURA(A)(B)と2チームで出場して、お互い決勝で対戦できることを目標に頑張ってきました。今回、その目標が達成できて良かったです。

30才以上 優勝

男子 TRF(千葉)

すべて2-0の完全優勝(年代別の部では初V)。まさか優勝するとは思いませんでしたが、チームワークの勝利です。

女子 瑞穂クラブ(茨城)

4人で出場しましたが、みんな自分の持ち場でしっかり試合できた。競ったゲームを落とさずに勝てたのが大きかったです。

【参加者の声】

女子50才以上 群馬 チームあじさい

「全国レディースや関東レディースに出ているが、この大会もレベルが高い」と相崎さん。

「4チームリーグでたくさんできるが、できれば上位2位まで立ち上がれるようにしたいと思います。東京で学生時代卓球していた知り合いにもこの大会で出会えて嬉しかったです」



男子40才以上 愛知 翔栄

初参加のチームだが、草間隆太さんは10年以上前に個人戦に参加した。その頃と比べると、レベルが数段上がっていて驚いた。「いろいろな戦術や技術があって、バラエティに富んでいて試合が面白い。3人団体でチームの和が良く、団結力があると感じた。最初は、『全国大会なのか?』という雰囲気だなと感じたがレベルは結構高い。格式張らないけど、内実はとても発展しているのではないですか」



男子70才以上 三重 和音M

全国大会は初参加。ブロックのチームのレベルが平均していて、楽しくやっている。四日市のベテランチームで、週3回は一緒に練習している。この経験を活かして、クラブとしては健康で楽しく、いつまでも死なないで卓球を続けることが目標だそうだ!



男子40才以上 宮城 杜仙卓心会

もともと東京で働いていた宮城出身者で構成しているチームです。仙台の七夕みたいに一年に一回出るのが楽しみになっています。それぞれ出張などが多い仕事で、一緒に練習することができませんが、出張先でも練習して技を磨き、この大会で発揮することがチームの目標です。初参加のメンバーの西澤さんは、「来年もぜひ出場したい」と。



女子40才以上 東京 クラリス

大川さんの息子の隼くんも応援! この子も将来は日本卓球を背負っていくのかな?! 隼くん、取材へのご協力ありがとうございました。

